

さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

香川県

2025 No.91

冬



香川の冬は 夜が楽しい。



特集
伝統文化の本質を体験する。
知事対談
SANA X 香川県知事 池田豊人
ヒト×モノ讃岐デザイン
ひだまりのような木の時間。



人から人へ「さぬきひめ」まで。

みらいいちご 西浦万理さん、森田皆子さん

二人の目標は「大切な人においしさを共有したくなるイチゴを作る」こと。さぬきひめの魅力をSNSでも発信中。



さぬきひめは、香川県農業試験場の旧三木試験地で開発された。果肉の糖度が高く、やわらかく、果汁も多い。



8人のパートタイマーを雇用。「前職の経験から、人を見る目には自信あり。真面目で優秀な方々ばかりです」。



オリジナルのかわいいパッケージを製作。

農家としてはまだまだ駆け出し。それでも、「人もイチゴも生き物同士。自分たちが元気だと、イチゴもそれを感じると思うから」と、笑顔を感じながら、さぬきひめの持つポテンシャルの引き出し方を語り合う毎日。面白くて仕方ない。



みらいいちご
西浦万理さん(写真左) 森田皆子さん(写真右)
西浦さんは京都府、森田さんは広島県出身。まず西浦さんが2年間広島県でイチゴ栽培修行を行う。その後森田さんと共に、三木町の師匠に「さぬきひめ」の栽培を習って、独立。

香川に住んで

はじめたこと



農園名「みらいいちご」は、イチゴを通して、自分たちの農園だけでなく、顧客や地域の未来も明るく広がるように、と思いを込めた。

大阪府の医療系人材紹介会社で共にバリバリ働いていた二人。西浦さんが体調を崩し、生涯の仕事を変えて模索した時期に、森田さんが農業に誘う。当時上司として尊敬し相性も良い西浦さんと、今の時代の農業を興しみたいと夢見ていたのだ。寝耳に水だった西浦さんも、偶然テレビで見たイチゴ農家の女性経営者を訪ねるなど、現場を知るうち、二人でイチゴ農家になる未来を描くようになった。



4棟のハウスを運営。建設費は、会社員時代に貯めた自己資金、銀行からの融資、新規就農者向け補助金を当てた。

就農の候補地を探し、たどり着いたのが三木町だ。無謀と言われがちな女性の就農移住を、香川ではどこでも真摯に受け止め、次に訪ねるべき場所も教えてくれました。それで高松市の移住支援センターから三木町のイチゴ農家まで人を介してつながり、感謝しなかった。そのうち、二人でイチゴ農家になる未来を描くようになった。就農の候補地を探し、たどり着いたのが三木町だ。無謀と言われがちな女性の就農移住を、香川ではどこでも真摯に受け止め、次に訪ねるべき場所も教えてくれました。それで高松市の移住支援センターから三木町のイチゴ農家まで人を介してつながり、感謝しなかった。そのうち、二人でイチゴ農家になる未来を描くようになった。

町が、以前から格別に美味と感じていたブランドイチゴ「さぬきひめ」発祥の地なのだから、運命である。「みらいいちご」のスタートは2023年の4月。職人に混じって農業ハウスの建設を手伝いながら苗を育て、初収穫は11月。最初の小さな一粒は二人で分け合って食べた。現在は3期目となり、さぬきひめに加え、冷凍イチゴ、イチゴパウダーのネット販売も手掛ける。町内でイチゴがテーマのイベントも主催した。

香川県情報誌
さぬき野
2025 冬
No.91

香川県に関する問い合わせ

香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3078
香川県のホームページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/>
さぬき野のページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/kocho/sanukino.html>
香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけます。
無料アプリ「カタログポケット」をインストールして「さぬき野」で検索してください。

iOS



Android



かがやくけん、かがわけん。

香川県

観望会で、
夜空の物語に触れる。



鉢伏ふれあい公園 星空観測室

地元の愛好家サークルが開催する「定期観望会」が40年も続いている。口径25cmと13cmの2種の望遠鏡で、12月は月と土星、1、2月は月と木星、土星を観測。予約不要で、JR普通寺駅から車で10分ほどと街から近く、気軽に参加できる。弘法大師生誕の地・普通寺の夜空に、星々は輝く。

香川県普通寺市与北町2055-1

TEL 0877-56-5355 (鉢伏ふれあい公園運営管理室)

「定期観望会」は月1回開催。予約不要、無料、雨天曇天は中止

香川県立五色台少年自然センター 天体観測棟

高松市街地から車で西へ30分ほどの五色台。瀬戸内海の眺望でも人気の自然豊かな山で、星空の美しさと素晴らしい体験する「星を見る会」が開催される。口径62cmと四国最大級の大型反射望遠鏡での観望は大迫力。冬は木星、土星、プレアデス星団やオリオン大星雲などが輝きを増し、空を見上げる者に癒しをくれる。



香川県高松市生島町423

TEL 087-881-4428

「星を見る会」はほぼ月1回開催。HPから要予約、有料

天体望遠鏡博物館

徳島県境に近い四国遍路の結願寺「大窪寺」の近くで500台以上の天体望遠鏡を展示し、望遠鏡の使い方教室を開催する日もある博物館。

「夜間天体観望会」は、見るものに適した望遠鏡や双眼鏡で観望し、曇天でも館内でナイトツアーを行う。街明かりから遠い山ならではの夜空が、宇宙への好奇心を刺激する。

香川県さぬき市多和助光東30-1

TEL 0879-49-1772 (開館時のみ)

「夜間天体観望会」は月1回開催(1、2月は休み)。

HPから要予約、入館有料



M42 オリオン大星雲



天体望遠鏡+スマホ撮影



M31 アンドロメダ銀河

夜だけの体験が
待っている。
待っている。
待っている。

星のソムリエ[®]が
宇宙への思いを導く。



旅の夜は、宿でのんびり過ごすのも選択肢の一つ。でも、宿の外には夜にしかできない体験が待っている。冬こそ輝く星空のパノラマ、夜直前の水族館、温泉のありがたさ、特別なイベント。香川の冬旅は、夜が楽しい。

星のソムリエ[®]は、宇宙や星にまつわる知識を伝えて星空の面白さを広める案内人。星のソムリエ機構が実施する認定制度によって資格を取得できる。四国で最も早くこの資格を取得したのが松野俊博さん。星のソムリエ[®]として、週末を中心にイベントや講演会を行うなど精力的に活動している。

松野さんが心がけているのは、天文学者として一般の方の中間に立つこと。土星の輪の見え方の角度が30年周期で変わる事実を「今年の土星は串団子に見える」と例えるなど、天文現象を楽しく翻訳して伝えている。「どこでもスターパーティー」と名付けた街の中の天体観測や、天体望遠鏡の接眼レンズにスマートフォンを当てて月や星の写真を撮影する体験など、松野さんが開催するイベントは誰もが参加しやすく、思い出に残しやすい。これまで自分が感じてきた面白さを分かりやすく共有することで、宇宙へ興味を持つきっかけを作っている。

松野さんは、香川で星空を眺める魅力は「安全な場所で楽しめること」だと考えている。天

松野さんのイベント情報は
フェイスブック、インスタグラム
X (旧Twitter) で確認できる。



松野俊博さん

星のソムリエ[®]
JAXA宇宙教育リーダー
丸亀天文クラブ代表
普通寺天文クラブ
さぬき市天体望遠鏡博物館
土器川ロマンの会



体観測はわざわざ人里離れた山奥に行くイメージがあるが、身構えず気軽に「街の近くで星を眺めてもらいたい」と提案する。実際、これまでも丸亀城や高松市の中央公園で観測会を開催してきた。特に空気が澄んでいる冬は、街に近い場所でも星が見やすくなる。明るくて安全な場所でも気軽に楽しめる香川での星空鑑賞は、天文の初心者にはちょうどいい。

夜空に輝く星のきらめきは、ただ眺めるだけでも美しい。でも、そこに星にまつわる逸話や星座の知識が加われば、天体の見え方が変わってくる。松野さんのイベントに参加したり、あらかじめ星のことを調べてから観察したりすると、星空は物語の舞台となる。

提灯を手に、闇の異界を歩く。

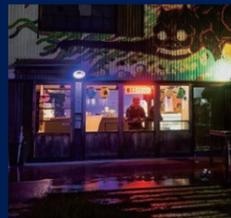
妖怪美術館



妖怪美術館は、小豆島・迷路のまちアートプロジェクトMeiPAM(小豆島ヘルシーランド)が運営。令和5年度総務省「ふるさとづくり大賞」で、団体表彰を受賞。

の怪物に迎えられる。常備された懐中電灯で照らすと、さまざまな姿や影が鮮明に浮かび上がり、恐る恐るのぞき込んでしまうから不思議だ。

明治時代に建てられた醤油倉庫で、いかつい顔をした頭だけの巨大な妖怪が待ち受けるのが2号館だ。この蔵の怖さ度数はかなり高いが、来館者は妖怪の頭に喜々として入り込み、鼻の穴から顔を出して



妖怪バー



開館は午前9時。「みちしるべえ」の提灯は、17時以降の来館者に貸し出される。



小豆島には、夜9時まで開いている妖怪がテーマの美術館がある。昭和の雰囲気が残る街並みを巡り、4つの建物で妖怪と遭遇する、夜が似合うお楽しみだ。

道案内する妖怪「みちしるべえ」が描かれた提灯を手に、まずは1号館へ。古い蔵のギシギシ音を立てる階段を上げれば、薄闇の中、天狗や河童など、お馴染みの妖怪や、恐ろしい姿

りとして入り込み、鼻の穴から顔を出して



妖怪美術館
香川県小豆郡土庄町甲398
TEL 0879-62-0221

水平線の茜色に、飛ぶイルカ。

四国水族館

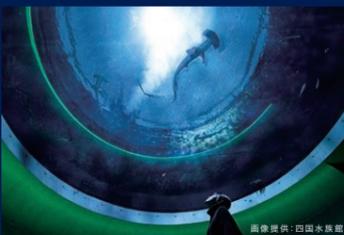


イルカと飼育員によるプレイングタイムが定期的で開催される。海風が強い日には、防寒対策をしっかりと。

香川には、夜が始まるサインとなる夕暮れに訪れたい、とっておきの場所がある。それが宇多津臨海公園の一角にある四国水族館だ。四国の海と川の生物の多様性を、それらが住む環境ごと「情景」として展示するのが、この水族館の特徴。鳴門海峡の激しい水流を模した水槽は「渦潮の景」。四国南部を流れる黒潮に住む魚が泳ぐ最大の水槽は、海の様を表現する「綿津見の景」と名付けられている。



激しい潮流を海中から見るような「渦潮の景」。水景を通して四国の魅力を伝えるのも、この館の目的。



水族館の宣伝隊長を務める「しゅこくん」のモデル・アカシュモクザメ。その姿から、英語ではハンマーヘッドシャークと呼ばれる。



屋内は美しく非日常的だが、アザラン、ペンギンなどと飼育員の交流を間近で見られる屋外展示の親しみやすさも魅力。



四国水族館
香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4
TEL 0877-49-4590

照明を落とし昼間でも薄暗い館内には、ドラマチックなライティングを施された大小の水槽が並び、魚類などの生物と岩や水草、そして水の流れが作り出す光景が次々と展開される。海中の美術館で動く絵画を見ているかのような展示スタイルは、アト泉と呼ばれる香川と親和性の高さを感じ

をもらったように心が躍る。

アートを感じる水族館探訪のクライマックスにふさわしい、神秘的な「夕暮れの景」を、ゆっくり静かに味わおう。



画像提供: 四国水族館

西へと沈む太陽の茜色が濃くなり、その色が大きく空を染めるようになっていく。プールを囲むデッキに座ると、聞こえるのは水音と笛のようなイルカの声。潮の香の風が吹く中、気まぐれにイルカがジャンプすると、海から特別なプレゼント

る。海と生物の美しさが際立つ幻想的な空間は、「ここ」ならではのものだ。

また生物の名前、姿形や生態は、飼育員などが黒板スタンドに手描きしており、こちらも緻密で芸術的、と注目されている。

さて、日没が近づいたらイルカの屋外プールへのびのびとイルカが泳ぐプールの視線の先は、そのままつながるように瀬戸内の海と島々、そして空が広がっている。全てがブルーに輝く昼間も素晴らしいが、ここの夕暮れは格別なのだ。

特別な記憶になる イベント。



今冬、香川では夜の観光がさらに
楽しくなるイベントが開催される。
旅のタイミングが合えば、
きっと心に残る時間になる。

アリーナのプロジェクションマッピングは、春と秋にも開催されて、国内外から多くの人々が訪れた。写真は秋開催時の一場面(妖怪美術館の妖怪たち)。

その夜、冬の幻想を見る。

新しく誕生したあなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)は、瀬戸内海に浮かぶ島を想起させる有機的な丸い屋根が特長である。この屋根を舞台として、映像と音で彩るプロジェクションマッピングが実施される。バレンタインの夜を美しく彩るファンタジックな時間。アリーナ周辺にはキッチンカーも出店予定で、地元のグルメの食べ比べも楽しみになる。

あなぶきアリーナ香川プロジェクションマッピング

【開催日】2026年2月13日(金)、14日(土)、15日(日)

【投影場所】あなぶきアリーナ香川北側屋根

【観覧場所】アリーナ北側シーフロントプロムナード

【問い合わせ】県立アリーナを活用した観光コンテンツづくり事業
実行委員会事務局(香川県観光振興課内)
TEL087-832-3360



船上から観賞できるクルーズツアーも開催

【日時】2026年2月13日(金)、14日(土)

【第1便】午後6時15分~7時

【第2便】午後7時45分~8時30分

【問い合わせ】穴吹トラベル TEL050-5538-0486

船上のクリスマスナイト。



クリスマス本番となる12月24日(水)と25日(木)の2日間、高松港から帆船型「日本丸」レプリカ船に乗り込んで夕景や夜景を楽しむサンセットクルーズ&ナイトクルーズが実施される。各日サンセットクルーズとナイトクルーズを1回ずつ催行する予定で、ピアノやサクスの生演奏が流れる船上から、瀬戸内海の夕景やイルミネーションが輝く高松の夜景を楽しむことができる。この

時期、高松市のウォーターフロント・サンポートエリアでは初となるクリスマスマーケットが開催されている。クルーズと合わせて、心温まるクリスマスの思い出になる。

クリスマスクルーズ

【日時】12月24日(水)、25日(木)

サンセットクルーズ(午後4時20分~5時20分)

ナイトクルーズ(午後6時~7時)

【問い合わせ】穴吹トラベル TEL050-5538-0486

Kagawa Christmas Market 2025

【日時】12月12日(金)~25日(木)午前11時~午後9時

【場所】サンポート高松多目的広場など

【問い合わせ】県立アリーナを活用した観光コンテンツづくり事業
実行委員会事務局 TEL087-832-3379

詳細はこちら

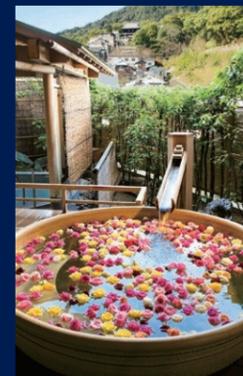


冷えた体は
温泉で甘やかす。

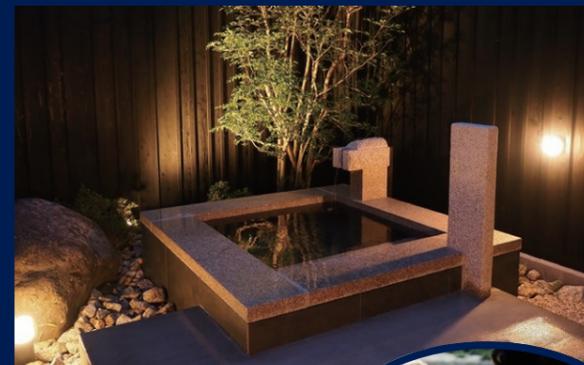
こんぴら温泉郷

「こんぴらさん」として親しまれ、初詣でも人気の金刀比羅宮。本宮まで785段、奥社までなら1,368段の長い石段は、一年の初めに爽快な達成感を味わわせてくれる。そんな金比羅詣での心地よい疲れを癒やしてくれるのが、門前町に湧き出る「こんぴら温泉郷」。1997年に湧き出た比較的新しい温泉だが、今では門前町の複数の宿に供給され、多くの参拝客に喜ばれている。

【問い合わせ】琴平町観光商工課 TEL 0877-75-6710



冬の夜遊びを楽しんだ後は、
温泉という温かい幸せが待っている。
讃岐路には、多彩な風景の中に
穏やかに暖かい香川の
風土のような温泉がある。
わがままに好みの温泉を選び、
身も心も甘やかしてみるのも冬の楽しみ。



小豆島の温泉

2025年は瀬戸内国際芸術祭でにぎわった瀬戸内海の島々。そんな島のなかでも温泉が楽しめるのが小豆島。干潮時にのみ海に道が現れる「エンジェルロード」を見下ろすホテルや夕日が美しいホテル、全室源泉掛け流しの温泉付きの宿などで温泉が楽しめる。静けさを取り戻した冬の島で、じっくりアートを鑑賞し、ときには潮風を感じながら温泉につかりたい。

【問い合わせ】小豆島観光協会 TEL 0879-82-1775



しおのえ 塩江温泉郷

奈良時代に僧・行基によって発見され、弘法大師空海が湯治場として広めたという香川県内最古の名湯。高松空港からわずか15分の距離にありながら、山並みに抱かれた四季折々の自然が美しく、県都高松の奥座敷として歴史を刻んできた。体験メニューが豊富なホテルや愛犬と共に過ごせるホテルなど、幅広い世代に愛される宿で歴史の湯を楽しめる。

【問い合わせ】塩江温泉観光協会 TEL 087-893-0148



中西珍松園・五代目の中西陽一さん(右)と佳奈さん(左)。志を共にする作家たちと一緒に、香川の文化を世界へ発信している。



TAKUMIKUMO VILLAGE
香川県高松市鬼無町佐藤8-2(中西珍松園内)
TEL087-882-0526



【指導する作家】

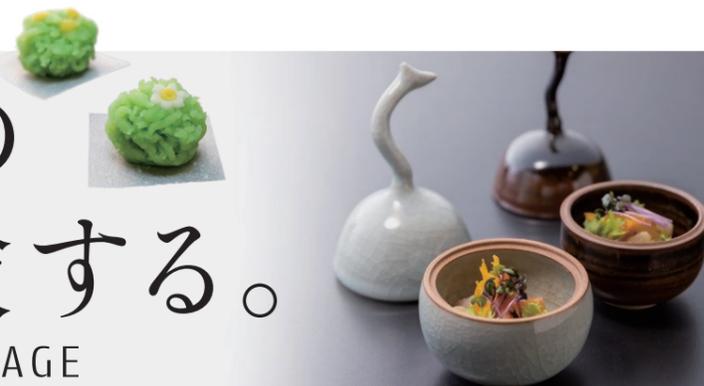
盆栽 中西陽一さん
陶芸 平岡朋美さん
香川漆器 松本光太さん
金継ぎ 松本光太さん・山田浩之さん
うちわ 「夢風」丸亀うちわニューマイスター
和菓子 鈴木康成さん

〔讃岐の学コース(全6コース)〕

盆栽(こけ玉)・陶芸・香川漆器(彫漆)・金継ぎ・うちわ・和菓子
人数 :2~6名程度
※2週間前までに要予約(ただし作家の都合による)

伝統文化の本質を体験する。

TAKUMIKUMO VILLAGE



香川の伝統文化を体験を通じて伝える。

日本最大の松盆栽の生産地である高松市の鬼無・国分寺エリア。そこにあるTAKUMIKUMO VILLAGEでは、香川の伝統工芸を牽引する作家と交流しながら、6種類のものづくりを体験できる。コンセプトは本質を伝えること。単なる技術体験ではなく、作家の手柄、作品が生まれる背景、香川の風土まで感じてもらいたいことを重視している。中心となって運営するのは、100年以上の歴史を持つ盆栽園「中西珍松園」の五代目・中西陽一さんと佳奈さん夫妻。作家たちと一緒に試行錯誤を重ねながら、訪れる価値のある質の高い体験を実現した。

約2時間30分の体験コースは、施設の周辺を散策することからスタートする。遠くに見えるおにぎり山、ぼっこりした松の苗が整然と並ぶ松畑、下校途中の小学生。ここで目にする香川の原風景の一つ一つが、文化の源流である。続けて中西珍松園での盆栽観賞となるが、散策をただで盆栽の見え方が変わってくるという。そして最後に体験へと移る。作家の技を見て、その思いを聞きながらの制作は熱を帯びる。ただし、作家の本業は作品制作であるため、指導の部分では佳奈さんも協力する。そのバランスがちょうど良く、体験が感動につながっている。

イベントから体験へ。

TAKUMIKUMOの変遷。

10年以上前から中西陽一さんは、盆栽、陶芸、香川漆器、庵治石など複数の伝統工芸作家が集まるものづくり集団「TAKUMIKUMO(匠雲)」として活動していた。香川の伝統工芸を広く知ってもらうため、国内にとどまらず、フランスやアジア各国でイベントを開催して成功を収めた。しかし、その中でイベント形式だけでは伝えきれないものも感じていた。イベントで作品を見てもらうことはできても、一番大切な「文化の本質が伝わっていないのではないか」。文化を深く伝えるためには、作家の手柄や哲学を伝える必要がある。それなら、少人数でじっくりと対話しながらの体験がふさわしい。その発想から生まれたのがTAKUMIKUMO VILLAGEである。文化を感じたい人へ本質を伝えるための新たな挑戦。狙いは当たり、ほとんど口コミだけで、著名人を含めて国内外から多くの人が訪れている。

TAKUMIKUMO VILLAGEでは、新しいコースとして「寿司」を計画中である。地元の食文化と職人の技が合わさる体験は、それだけで好奇心を刺激される。心と心が通じ合う体験を求める人には、これからも目が離せない場所である。





IKEDA TOYOHITO

港の魅力を
さらに高めます。

栗林公園のおおらかさや、海に立つ城跡のダイナミックさも感動的です。栗林公園の茶室「掬月亭」では、書院造りでは見られない丸太が使われ、南国的な開放感を生み出しています。香川県の職員でもあった山本忠司さんの瀬戸内海歴史民俗資料館の建物にも圧倒されました。四角の連続性の展開は今見ても斬新です。そして、香川県は、何といても海路が魅力。今の多くの街は陸路側に顔があり、海から近づくといわゆる裏口を見せてしまうのですが、

最後に香川県の魅力について、お聞かせ願えないでしょうか。

まず風景の素晴らしさ。おむすび山があり、水田もため池も鏡のように平らになっている。それが、そのまま波穏やかな瀬戸内海と島々になる。陸と海

のその連続感に感動します。建築の世界で言えば香川は誰もが知る「建築王国」です。中でも丹下健三さんの香川県庁舎は、単に名建築というだけでなく、戦後日本の民主主義や自由の到来を象徴するいわば記念碑でもあります。

四国全体に言えることかもしれませんが、都市でありながら、とても「おおらか」で自由な雰囲気

が漂っています。

栗林公園のおおらかさや、海に立つ城跡のダイナミックさも感動的です。栗林公園の茶室「掬月亭」では、書院造りでは見られない丸太が使われ、南国的な開放感を生み出しています。香川県の職員でもあった山本忠司さんの瀬戸内海歴史民俗資料館の建物にも圧倒されました。四角の連続性の展開は今見ても斬新です。そして、香川県は、何といても海路が魅力。今の多くの街は陸路側に顔があり、海から近づくといわゆる裏口を見せてしまうのですが、

棚田も復活しています。豊島美術館はいつ行っても、まるで昨日完成したかのようなきれいな景色があります。アーティストである内藤さんの作品の一部として、美術館の皆さんが心を込めて清掃してくださっていて、頭が下がる思いです。

海に陸におおらかな 風景がきらめく香川県。

知事対談 妹島和世十西沢立衛 × 池田豊人

SANAA

香川県知事



香川県知事

池田 豊人

高松市などは海側に正面を見せています。海からアプローチできるという強みがあります。

なるほど。海と陸の「連続性」、そして「おおらかさ」、さらに「海路」。

これは、香川県の魅力であり、これからのまちづくりにおいても、非常に重要なキーワードになりそうです。お二人とも、本日は貴重なお話をありがとうございました。



SEJIMA KAZUYO

風景と一体になる
建築を目指しました。

「海が見える体育館というのは見たことがない」と、皆さん言ってください。やはり香川県の財産の一つは瀬戸内海、そして海と言えば港です。高松港のみ

「海が見える体育館というのは見たことがない」と、皆さん言ってください。やはり香川県の財産の一つは瀬戸内海、そして海と言えば港です。高松港のみ

風土も建物も
開放的な魅力に
あふれています。

さらに、公園の延長のイメージで、くつろげる場所を目指しました。

駅の方からのアプローチでは最後の緩やかな坂を登ると、突然に海が開けます。そこで、皆さん声を上げたり、記念撮影をしたり。コンサートの待ち時間も単に待つのではなく、海を眺めながら過ごしています。

ドームでありながら閉鎖的な箱に閉じてしまわず、軒を出すことでその空間が明るい透明感を生み出して、人が自然と集まるような効果を出しています。閉館時でも歩けるので、開放感の象徴としての軒下でもあります。アリーナの外の魅力的な都市空間です。海が見えればアリーナの個性になります。

妹島和世さんと西沢立衛さんによる建築家ユニットSANAAの設計による中四国最大規模のアリーナが、香川県高松市に誕生しました。この「あなぶきアリーナ香川」は、外観のユニークさ、環境との調和という点で評価が高く、さらにミュージシャンの方からは「使い勝手が良い」という声をいただいています。



あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)

SANAA

妹島 和世

茨城県出身。1987年に妹島和世建築設計事務所を設立。

西沢 立衛

神奈川県出身。1997年に西沢立衛建築設計事務所を設立。

1995年に妹島氏と西沢氏でSANAAを設立。「金沢21世紀美術館」(2004)、「海の駅おしま」(2006)、「ニューミュージアム」(2007)、「あなぶきアリーナ香川」(2025)など数々の建築を手掛ける。日本建築学会賞、ブリツカー賞、2025年王立英国建築家協会ロイヤル・ゴールド・メダルなどを受賞。

「海の駅おしま」は、もともとは券売所の建て替え計画でしたので小さな敷地を指定されました。しかし、フェリーでいらっしゃる方を迎え入れる島の玄関ホールとなるような開放的で自由に人が出入りできるようなものを作ったらどうだろうと、ターミナル全体に大きな屋根をかけることを提案しました。そして、周囲の島の土地を合わせて使うことを承諾いただいて、現在の建物が実現しました。

港は非常に大事な場所だと考えています。非日常を味わえる船旅や島旅の出発点、ワクワク感を後押しするような場所であればと思いますね。その非日常を味わえる島の施設の一つが豊島美術館です。

※ 建築家・西沢立衛氏とアーティスト・内藤礼氏による美術館

香川県産ヒノキの木工キット × 癒楽木 青木 節子

ひだまりのような 木の時間。



冬なお暖かい気候に恵まれた香川県は、
良質なヒノキの産地でもある。
雨が少ないこの地では、長い時間を掛けて
ゆっくりと成長するため、
年輪の幅が均一で密な木が育つ。
ゆがみが少なく加工しやすい材木としてはもちろん、
その端材や間伐材にも命を与えた人がいる。

親から子へと伝えていきたい讃岐の伝説をモチーフにした「さぬきの組木パズルシリーズ」。ヒノキの優しい肌触りを感じながら色を塗れば、世界に一つの作品になる。

建築業に携わる夫の仕事を手伝っていた青木さんは、現場から出る端材に「もったいない」という気持ちを抱く。これを生かしたいという思いで、2009年、子どもたちを対象とした木工教室を開いた。教えるために学びたいと、高等技術学校や県外の木工教室にまで足を運び、1級家具製作技能士や職業訓練指導員の資格を取得した。さらに、現在は木育インストラクターとしても活躍中だ。

木について深く学ぶようになって分かったのが森の危機的状況。そこで、森を守るために間伐材を使うようになった。「私の活動は森とまちを結ぶこと。間伐材を使うことで、森の手入れの大切さや、山が荒れると災害につながることもお話しします」と青木さん。幼稚園や学校に向くときにも切り株を持参し、木の命について気付きを促す。実際に作り始めると、木はそれぞれに個性があつて一筋縄ではいかない。くぎが曲がっても失敗ではない。くぎ抜きを使う体験ができることを、むしろラッキーと語りかける。木工をしながら、親子の会話も生まれ、世代を超えた学びもある。面と向かつての相談ではなく横並びの対話で、青木さんの木工教室には、温かいひだまりのような



時間が過ぎていく。木工教室に来られなくても、そんな温かさを知ってほしいと生まれたのが、誰でも簡単に作ることができる県産の間伐材ヒノキを使った木工キット「hinokit(ヒノキキット)」。例えば、香川

県の名品名所が満載の「さぬきのあいうえお積木」は、青木さんが一つ一つ香川に思いを寄せて何を描くかを考えた。また、「さぬきの組木パズルシリーズ」は、地元の伝説をモチーフにデザインした組み木のおもちゃ。どちらも紙やすりがセットされていて、これで角を削ることでヒノキの香りに包まれながら完成する。作りながら、遊びながら、香川県にまつわる会話と香りが、豊かな時



hinokitには、クリスマスツリー、羽子板やこま、おひなさま、こいのぼりといった季節ものや、愉快な音が出る楽器シリーズもある。

間をもたらししてくれる。「さぬきの組木パズルシリーズ」は、香川県の優れた産品を見いだす「かがわ県産品コンクール」で令和6年度の優秀賞を受賞した。「ヒノキは、「日の木」と呼ばれるほど元気を与えてくれる木。神社仏閣などで「神聖な木」として使われ、香りに代表される癒しのパワーを持つ木」と青木さんは語る。その力で人々を癒やし、不登校や引きこもりの支援活動にも力を入れ、香川県を元気にしたいという。

一つ一つ角を削る作業を通して、会話やふるさとへの愛情があふれてくる「さぬきのあいうえお積木」。

温かい香川県のヒノキを使って、香川が大好きな青木さんが創り出す温かい時間。香川県だからこそ生まれる積み木や組み木のおもちゃたち。温かい思いが手から手へ、そして心から心へと小枝を揺らす風のように広がってゆく。



木工教室は癒楽木で開催するほか、学校や公民館などに出張し、月に2回は高松市丸亀町商店街にある「讃岐おもちゃ美術館」でも開催している。



癒楽木 青木 節子

香川県生まれ香川県育ち。香川県に本格的な木工を学べる教室をと、2009年に木工教室癒楽木を設立。伝統的な本格木工から、気軽にできるDIY木工、木育木工など、木を使ったものづくりの楽しさをたくさんの人に伝えたいと活動中。1級家具製作技能士、職業訓練指導員、木育インストラクター、DIYアドバイザー、整理収納アドバイザーの肩書を持つ。



「癒楽木」は、リラックス効果があるとされる「1/f(エフぶんいち)ゆらぎ」に由来する。癒し効果のある木を使ったものづくりをゆったり楽しんでほしいとの思いを込めて、夫が名付け節子さんに贈った店名だ。



癒楽木 木工教室・木工キット
香川県高松市春日町1568-3
TEL 090-9773-1243
<https://yuragiwood.com/>

香川・愛媛
せとうち旬彩館 東京・新橋 アンテナショップ

KAGAWA
EHIME
SETOUCHI
SHUN SAI KAN

1F特産品ショップ、2F郷土料理レストラン、
観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

1F・2F 旬彩館公式LINEスタート!

香川・愛媛せとうち旬彩館では、今年9月26日から公式LINEを始めました!お友だち追加することで、お得な情報やキャンペーン情報などを配信しています。

さらに、現在キャンペーンを実施しており、今ならお友だち追加するだけで、1階の特産品ショップと2階の郷土・せとうち料理かおりひめ、工芸品・雑貨ショップのそれぞれで使える100円引きのクーポンをプレゼントしています(定員に達し次第終了します。)。お友だちの追加がまだの方は、ぜひ、QRコードを読み取りいただき、お得な情報やクーポンとともに、香川の旬をお楽しみください!

注目はコレ

お友だち追加は
こちらから



2F 来年もやります! 4館連携お雑煮スタンプラリー

新橋周辺の3つのアンテナショップ(奈良まほろば館、とっとり・おかやま新橋館、日比谷しまね館)と連携して、1月4日(日)から15日(木)までの間、お雑煮スタンプラリーを開催し、香川県からは、かおりひめでもすっかり新年の定番メニューとなりました「あん餅雑煮」を提供します。お雑煮を食べて専用券でご応募いただきますと、抽選で豪華特産品の詰め合わせをプレゼントしますので、ぜひこの機会に、香川のあん餅雑煮はもちろん、各県の地域色豊かなお雑煮をご賞味ください。

**せとうち旬彩館は、年内無休で、新年は4日から営業しますので
皆さまのご来館をお待ちしています**

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1・2階
<https://www.setouchi-shunsaikan.com>
 香川県・愛媛県共同アンテナショップ運営協議会
 TEL03-3574-2028

さぬき野 冬 No.91 令和7年12月1日発行
 企画・発行：香川県広報課
 編集・制作：(株)中国四国博覧堂

冬の香川は夜こそ輝く季節。星降る街、夕日に舞うイルカ、妖怪との遭遇、湯煙の温泉、光に包まれるアリーナ。夜の香川でも、心がほぐれるひとときをお楽しみください。 編集長

2026年3月15日(日)初開催!

かがわマラソン
 KAGAWA MARATHON 2026 みんなで、よーい、うーん!

大会アンバサダー
 (左から三津家貴也氏、福士加代子氏、志村美希氏)

2026年3月15日(日)に、「かがわマラソン2026」を初開催します。県内外から1万人のランナーを迎え、ボランティアも応援する人もみんなで盛り上がるお祭りのような大会を目指し、準備を進めています。スタート・フィニッシュ地点となるあなぶきアリーナ香川周辺では、大会前日および当日にイベントも開催します。「だし惜しみなし!香川の魅力」をコンセプトに、香川の食文化、伝統芸能やおもてなしまで、全てを楽しんでいただける大会です。ぜひ会場に足を運んでいただき、香川の魅力をまるごと体感してください。

皆さまのお越しをお待ちしております。

大会HPはこちら

【問い合わせ】かがわマラソン実行委員会事務局
 (香川県交流推進課マラソン準備室内) TEL087-832-3867



真っさらな 白い気持ちに 紅添えて
一年の幸せを願う「年明けうどん」

香川県発の食文化である「年明けうどん」。元日から1月15日までの間に、純白で清楚なうどんに、“紅い一品”を添えた紅白のめでたいうどんを食べて、その年の幸せを願います。

太くて長いうどんは長寿を願う縁起物です。新春を祝う“紅い”具材は、梅やエビなど何でも構いません。簡単に作れる縁起物「年明けうどん」を、ぜひ皆さまもご家庭でお試ください。

また、下記特設サイトで、工夫をこらした「年明けうどん」を提供するお店を、県内外合わせて100店舗以上紹介していますので、ぜひご利用ください。

【問い合わせ】香川県産品振興課 TEL087-832-3385

特設サイト




【うどん県。それだけじゃない 香川県】知事賞(最優秀賞)】

- 食品部門：讃岐もち麦うどん(石丸製麺株式会社 | 高松市)
 「食感と味、栄養素を兼ね備えた新タイプの乾麺」をコンセプトに、「ダイシモチ麦」を使って開発された機能性表示食品。
- 菓子・スイーツ部門：Sun lemon(株式会社かにわし | 高松市)
 高松商業高校の高校生と共同開発し、県産「璃の香」を使って爽やかに仕上げたアイスタルト。
- 一般部門：保多織コラーージュジュシュー(フティックJune | 高松市)
 県の伝統的工芸品「保多織」のハギレを丁寧にコラーージュ。色味や配置にこだわったサステナブルな一点もの。
- オーリーブ部門：讃岐名物やみつぎチャーシュー(株式会社threee | 多度津町)
 オーリーブ豚を塩こうじで熟成、県産の木桶醤油だれで仕上げた逸品。

【うどん県。それだけじゃない 香川県】優秀賞】

- 食品部門：瀬戸内くりーみドレッシング(合同会社M's Canada | 高松市)
 ※2025年12月販売開始予定
- 菓子・スイーツ部門：さぬき産ふるっつ 果樹ゼリー(株式会社 夢葉房たから | 高松市)
- 一般部門：ウツドスピーカー「松音」シリーズ 木音Mokune / 紡音Tumune / 共音Tomone(組手拳房 隆 | 高松市)
- オーリーブ部門：オーリーブハーブソルト マジョラム(丸島醤油株式会社 | 小豆島町)

【問い合わせ】
 香川県産品振興課 TEL087-832-3383
 らぶさぬきさん 検索






LOVEさぬきさん

東京都心のセレクトショップで開催
「かがわ展 ～伝統の逸品～」

日本各地から厳選した衣食住の品を扱うセレクトショップ「THE COVER NIPPON(ジカバーニッポン)」で、香川県の伝統的工芸品などを集めたフェア「かがわ展 ～伝統の逸品～」を開催します。

香川漆器、讃岐かがり手まり、讃岐一刀彫などの伝統的工芸品から、冬のギフトに最適な手袋やファッション雑貨まで、香川県の優れた産品を取りそろえました。伝統と革新が生み出した「日常を彩るかがわの産品」を、ぜひこの機会にお楽しみください。

【ウェブサイト】
<https://thecovernippon.jp/>
 【問い合わせ】
 香川県産品振興課 TEL087-832-3386




※写真は昨年度のフェアの様子

【会期】2025年12月1日～2026年1月31日

【会場】①「THE COVER NIPPON」
 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウンガレリア3階 営業時間 午前11時～午後8時
 ※年末年始は営業時間が変更になる場合があります。(1月1日は休業予定)

②「いい日になりますように THE COVER NIPPON 帝国ホテル店」
 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテル本館1階 営業時間 午前10時～午後7時

【フェア取扱品目】香川漆器、丸亀うちわ、讃岐かがり手まり、讃岐一刀彫、欄間彫刻、庵治石、手袋、バッグ ほか

(注)掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。